



父の故郷は、
水のきれいな、
優しいおばあちゃんのまち。

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

阿蘇 zen A s o C i t y

ひっこみ思案の少女だった。人のうしろに隠れていることが多かった。学校の図書館の本を二年間に三百冊読んでしまう小学生だった。「物語や歴史や動物の話や、なんでもかんでも手当たり次第でした」高校に進み、国語の教師になろうと固く決めていた。教壇に立つ未来の自分の姿がはつきり目に浮かんでいた。二年生のとき級友たちと旅行することになり、プラン立案を受け持つ。うまくできた。みんなにいっぱい感謝されて、あつけない気が変わる。教師はやめよう。「人の喜びに手を貸す仕事をして生きていこう」と決心し、その人生をまっしぐらだ。生まれは神奈川県横浜だったが、父の転勤で十一歳から熊本に。阿蘇は父の故郷だ。少女時代もよく訪れた。水のきれいな、優しいおばあちゃんのまち。ひっこみ思案の少女としては、今の抱負は？ そう尋ねられると、「うーん、天下を取ること、でしょうか」ジョークですかマジですかと問われ、アハハと淑やかに笑うばかり。

九州産交ホールディングス 外村 綾

あるがまま、という貴さ。
人と自然が共作する阿蘇。